

ご参考

弊社代表取締役・CEO加藤充のコメント

「乗務員、乗客の命を守る」

今回の帝産観光バス様の全車モバイルアイ導入を歓迎しております。大手旅行会社系企画会社様のご協力を得て、衝突被害軽減ブレーキが搭載されたバスにも全車ご導入いただいたことは、あの痛ましい軽井沢スキーツアーバス事故から3年目でバスの安全性向上に対して画期的な出来事であり、多くのバス会社の模範となっていただきたいと考えています。

大型車に2017年から義務化された衝突被害軽減ブレーキは、衝突事故の「最後の砦」であるものの、衝突を回避し、乗務員の運転を支援する装置としては不十分な面もあります。

近年、「衝突被害軽減ブレーキが搭載された新車に代替えたから、もうモバイルアイは不要」とのお客様の声を聞く中で、大手旅行会社系企画会社様のご協力を得て、帝産観光バス様の「最低限の運転安全保安装置は統一化する」「衝突被害軽減ブレーキは万能ではないので、モバイルアイを運転支援機能として活用する」という考えは理にかなっており、日本で最も安全な大手専門の貸切バス会社になったと言えるでしょう。

後付けできるタイプの衝突防止補助装置製品は、現在、正に玉石混合、「性能不足な製品と本物が混在しており、人の命に係わる極めて重要な製品でありながら、安全性能の統一基準が周知されていない現状です。モバイルアイは、後付けであっても世界基準であるISOの「前方車両衝突警報システム」基準テストに適合することが証明された製品である事も高くご評価いただきました。(本物と性能不足な製品はISOの性能基準の合否をもって判断できる)また、バス事業者の経営層の方々へのリスク低減効果もご評価いただいております。

特にバス、トラック、タクシーなど事業用の車両に関しては、お客様やドライバーの命は何よりも肝要、衝突被害軽減ブレーキの性能をカバーする安全装置の搭載が必要だと考えます。

私どもは今回の帝産観光バス様での導入を契機として、衝突被害軽減ブレーキ搭載車両であっても、モバイルアイが乗務員の運転支援に役立ち、事故回避性能を上げることで、結果として日本の事故を減らし、お客様、ドライバー、歩行者などの「日本の命を守る」、そんな世界が実現出来たらと夢見ています。